陳情第２０号

議員の監査委員制度を廃止、民間の監査委員にすることの陳情書

（趣旨）

現在流山市の監査は市会議員代表１人、民間選出１人になっている。２００７年地方自治法の改正によって「議員からの監査委員選出」の義務付けが廃止され、民間の監査委員が選出されるようになった。

この改正は２院代表制による歪みの解消を狙っていた。身内によるチェックは弊害が起こりやすいからである。第３者のほうが公正を期することができる。さらに流山市のように急速に発展した市においては、複雑で様々な問題が起こりやすく、監査の専門性の向上が急務である。市民から出された流山市の会計の不正疑惑については例としてあげておく。

このような疑惑に対しても民間からの監査委員のほうがより正確であるのは自明のことであろう。

また議員が監査するというは議員にとっては重荷であり、本来の議会活動を保証するためにも負担も軽減したいところである。

したがって流山市においては議員の監査制度はなくし、民間の監査委員にすべきである。

（項目）

１　議員の監査制度をやめ、すべて民間の監査委員にするよう条例を変えてください

２　新しい監査委員によって会計に関する疑惑を徹底的に調査して、市民に公表してください。

令和８年１１月１１日

陳情者



流山市議会議長　石原　修治　様

参考資料

私たちオンブズマンが調べた流山市の財政支出の不透明な疑問点

①監査項目に秘密事項があるのは違法です。秘密事項はなくしてください

②リサイクル館の機械の入れ替えに数十億円がかかりますが、この積立金について記載されていません。

③この契約の方式を同族会社３社がＪＶを作り毎年市より４億円をもらい、残りはためています。監査して下さい。

④新川屋の購入に関し疑問がたくさん出ています。買値と売却費の差について説明されてません。監査してください。Ｎ議員とＭ元議員が関与が疑われますので調べて下さい。

⑤流山市のゴミ袋は環境省で７割の負担があると聞いてます。それなのに他の袋より高いのは、なぜですか？業者への不当な支出はありませんか。監査して下さい。

⑥流山市のぐりーんバスの計画が不透明です。市議会議員が出たところに路線変更がされていると言われてます。利用状況と全体の路線計画の根拠を詳しく出して下さい。

⑦古くなった学校のコンクリートや公民館の耐用年数の限界が超えて、危険な状態なのに調査もせず、対策費用が計上されてません。安全対策費として計上すべきです。

こういったもろもろの市民のつぶやきが反映されず、市議会議員癒着と思われる予算計上では公平とあるといえません。市の当局と執行部から独立した監査委員が、是必要です。